別紙様式第１号

#### 研　修　計　画

令和　　年　　月　　日

公益社団法人あおもり農業支援センター理事長　殿

住　所：〒

［申請者］氏　名:

電話番号：

（生年月日：　年　　月　　日：　　歳）

メールアドレス：

公益社団法人あおもり農業支援センター就農準備緊急支援資金交付要綱（以下「交付要綱」という。）第４の１の規定に基づき研修計画の承認を申請します。

なお、新規就農者確保緊急円滑化対策実施要綱（令和５年12月１日付け５経営第2016号農林水産事務次官依命通知、以下「実施要綱」という。）別記１第７の３の規定に基づき本計画の内容を含め、本事業に係る交付対象者の情報は関係機関において共有されることに同意します。

また、交付要綱及び実施要綱の規定を遵守し、就農するための研修に励むことを誓約します。

なお、交付要綱及び実施要綱の規定により、当該資金の交付を停止され、一部又は全部を返還することについて異議はありません。その際には、既に交付を受けた資金の一部又は全部を返還することを（連帯保証人の署名又は押印を添えて）誓約します。

１　農業を始めようと思った理由

|  |
| --- |
|  |

２　就農時に係る計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 就農希望地 |  | 就農予定時期  （就農予定時の年齢） | | 年　　月  （　　　歳） |
| 就農形態 | □新たに農業経営を開始※１  □親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始※２  □親の農業経営を継承※３  （□全体、□一部）  □雇用就農  □正社員として期間の定めのない雇用契約を締結  　□通算５年以上の有期雇用契約を締結  　□研修終了後５年以内に独立・自営就農  　□研修終了後５年以内に法人の共同経営者  □親元就農※４  □親の経営の全体を継承、□法人の（共同）経営  □親の農業経営とは別に新たな部門を開始  経営継承、法人の（共同）経営、又は新たな部門を開始する  予定時期　 　年 　月 | | | |
| 経営面積※５  飼養頭羽数 | a・頭・羽（合計） | | 農業所得目標※５ | 万円/年 |
| 経営内容※５ | 作目： a  作目： a  （その他：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） | | | |

※１　非農家出身者で独立・自営就農する者の場合

※２　農家出身者で親の農業経営を継承せずに独立・自営就農する者の場合

※３　農家出身者で親の農業経営を継承して独立・自営就農する者の場合

※４　三親等以内の親族の経営する農業経営体に就農する者の場合

※５　就農５年後の目標を記入する（雇用就農又は親元就農の場合は記入不要）

３　将来の就農ビジョン（生産物の販売方法などを記載）※６

|  |
| --- |
|  |

※６　交付要綱第３の（５）の場合は、ア及びイについて記載する。

４　計画を達成するための研修※７

① 研修内容等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名　称 |  | 所　在　地 |  |
| 専　攻・  営 農 部 門 |  | 研 修 期 間 | 年　月　日 ～ 年　月　日 |
|  | | | |

※７　研修先が複数の場合は記入欄を追加して記入する。

② 交付期間（就農準備緊急支援資金）

年 月 日 ～ 年 月 日

５　その他

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 常勤の雇用契約の締結 | | * 締結している * 締結していない |
| 生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付等（例： 生活保護制度、雇用保険制度（失業手当） 等） | | * 給付等を受けている * 給付等を受けていない |
| 過去に本事業、農業次世代人材投資事業（準備型）、就職氷河期世代の新規就農促進事業（令和元年度補正予算、令和２年度補正予算）、就農準備支援事業又は就農準備資金・経営開始資金による資金の交付 | | * 交付を受けたことがある * 交付を受けたことがない |
| 傷害保険の加入 | | * 加入している * ４の②の交付期間の開始日までに加入する * 加入しない |
| 賠償責任保険の加入 | | * 加入している * ４の②の交付期間の開始日までに加入する * 加入しない |
| 前年の世帯全体の所得※８ | | 万円 |
| 前年の世帯全体の所得が600万円を超えているにもかかわらず資金交付が必要な理由（超える場合のみ記入） | | |
|  |  | |
|  | ※センターの記入欄  生活費確保の観点から支援対象とすべき切実な事業の有無（□有　□無）  【所見】 | |

※８「世帯」とは本人のほか、同居又は生計を一にする別居の配偶者、子及び父母

が該当。「所得」とは、地方税法第292条第１項第13号に定める「合計所得金額」。

６　連帯保証人※９

|  |
| --- |
| 住　所  氏　名  連絡先 |
| 住　所  氏　名  連絡先 |

※９　連帯保証人は２名とし、その内１名は申請者と生計を異にする者とする。

添付書類

別添１：受講する研修のカリキュラム及び受講が認められていることを証する書類

別添２：履歴書

別添３：離職票の原本（離職票の提示が可能な場合）

別添４：農業研修に関する確認書の写し（先進農家等で研修する場合）

別添５：確約書（研修終了後、親元就農する予定の場合）

別添６：傷害保険及び賠償責任保険に加入している場合は当該保険証書の写しを添付。交付期間が開始するまでに加入予定の場合は、加入を検討している傷害保険の内容がわかるもの（パンフレット等）を添付し、加入後に傷害保険証書の写し

別添７：個人情報の取り扱いに係る同意書

別添８：前年の世帯全体の所得を証明する書類（源泉徴収票、所得証明書等）

前年の世帯全体の所得が600万円を超える場合は、必要に応じて生活費

確保の観点から資金を必要とする理由欄に記載した事情の裏付けとなる

書類を添付。

別添９：身分を証明する書類（運転免許証、パスポート等の写し）